

主な内容

- 農業大学校事例研究等校外研修を実施しました…1
- 豚熱発生農場の疫学調査結果から…2
- アブ防除ジャケットを利用してみませんか！…3
- ワクチン接種料金の一部変更について…4
- 定期報告書の提出を忘れずに…5

農業大学校事例研究等校外研修を実施しました。

令和2年10月21日、将来、家畜の飼養を通じて地域の担い手となる県立農業大学校畜産学科の学生18名を対象に事例研究等校外研修が当所で開催されました。研修会のテーマは、牛の重要な家畜伝染病の1つ「口蹄疫」です。

- ✓ 「口蹄疫」とはどのような病気か
- ✓ 万一発生した時の殺処分、埋却、移動制限等の一通りの「防疫措置」について
- ✓ 家畜伝染病の発生、まん延防止を目的とした「家畜伝染病予防法」について
- ✓ 発生させないための具体的な方法である「飼養衛生管理基準」について学びました。

学生たちは、真剣な眼差しで受講し、時間の限り活発な質疑応答が交わされました。

以下に参加した学生の感想を紹介します。



「口蹄疫」というワードは、今まで何度も聞いてきましたが、なぜ特定家畜伝染病に指定されるほど危険な病気なのか、いまいちピンときませんでした。今回、家畜保健衛生所での講義を聞いた後に、口蹄疫について調べてみました。まず、口蹄疫ウイルスは、偶蹄類動物に対するウイルス伝播力がウイルスの中でも非常に強く、ウイルスは陸上では60km（農大から岩手牧場くらいまで）、海上では250kmの距離を風によって広がるとされています。つまり、風上に発生農場があるとなると風下20km圏内の牛や豚は感染の可能性があり、その地域で飼養されている家畜は移動制限もしくは搬出制限されます。

家畜が口蹄疫にかかると、子牛や子豚は死亡することがありますが、成畜では死亡率が数%程度といわれ、ここまで聞くと「致死率が高くないなら殺処分しなくてもいいんじゃないか」とも思ってしまいます。しかし！発病後に発育障害・泌乳障害・運動障害が現れて、産業動物としての価値が失われるため、経済的損失は極めて深刻です。また、前述の通り感染力が強いため、地域規模での損失も計り知れないということが分かります。

もし口蹄疫が自分の農場で出てしまったら…と考えるとゾッとしました。絶対に口蹄疫やその他感染症を発生させないためにも、今回家畜保健衛生所で教えていただいた「飼養衛生管理基準」を守っていかなければならないと感じました。（肉畜経営科2年Oさん）

彼らが近い将来、地域の担い手として、飼養衛生管理基準を遵守する経営者として活躍されることを期待しています！

豚熱発生農場の疫学調査結果から

中小家畜課中家畜担当

国内における豚熱の発生は62例確認（令和3年2月15日現在）され、昨年末には、東北では初となる山形県の農場で発生しました。また、野生のいのししにおける陽性確認地点も山形県まで北上したことで秋田県がワクチン接種推奨地域に指定され、本県への侵入リスクが高まっています。

そこで、年末に発生した山形県と三重県の2事例の調査結果（1月15日付「第14回拡大豚熱疫学調査チーム検討会の結果概要」）から対策のポイントをお知らせします。

農場への侵入要因

- 山形県の農場では防護柵が未設置であり野生動物の侵入防止対策が不十分だった。

ポイント：防護柵を設置されていても定期的に点検し、隙間等があれば速やかに修繕しましょう。

- 屋外敷料保管庫の開口部に防鳥ネット等が未設置であり、敷料に野鳥の糞便が付着していた。

ポイント：飼料保管庫、堆肥舎、死体保管庫等、野生動物が集まりやすい場所については、防鳥ネットを設置しましょう。



防鳥ネット（管内農場）

豚舎への侵入要因

- 日中、豚舎入口を開放しており、野生動物が侵入する可能性があった。

ポイント：開放する場合は防鳥ネットを設置しましょう。

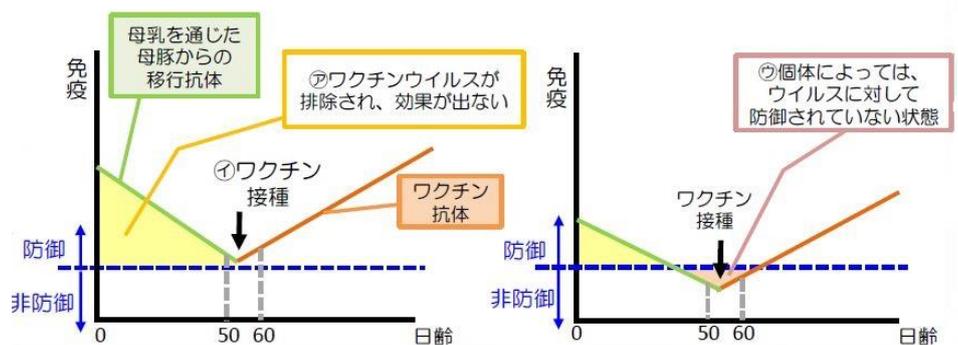
- 豚舎間を移動する際に屋外の通路を歩かせていた。

ポイント：ワクチン接種推奨地域に指定された場合、移動用のケージ、リフト等を使用し、外を歩かせる場合は、地面の舗装やゴム版等を設置し土頭やほこりが付着しないようにして、移動前に十分に消毒しましょう。

豚熱ワクチン

- 山形ではワクチン接種前の侵入が示唆されたことに加え、出荷のため発生豚舎の6割が未接種でした。

- 三重では母豚のワクチン抗体価が著しく高いとは言えず子豚の移行抗体が消失した時期に感染した。



ポイント：ワクチン接種の初期は免疫を獲得していない豚が存在します。従って、ワクチン以上に飼養衛生管理の徹底が必要不可欠です。（上図）

本県がワクチン接種推奨地域に指定される可能性が高くなっていますが、ワクチン

を過信せず飼養衛生管理基準の遵守徹底で、本県の養豚業を守りましょう！

アブ防除ジャケットを利用してみませんか！

大家畜課 衛生担当

牛伝染性リンパ腫(BL：旧名称「牛白血病」)は、BL ウイルスによる疾病で、感染拡大の大きな要因はアブの吸血による伝播です。従来のアブ対策として、防虫ネットの設置を推奨してきましたが、作業性が低下するなどの問題もありました。今回、ご紹介するアブ防除ジャケットは牛に着用させることで作業性を損なうことなく、アブの吸血回数を減らし感染防止効果が得られることが大きな利点です。

今年度、当所では管内の公共放牧場や農場において、その着用効果を検証しました。

	着用頭数	検査頭数	陽転頭数	陽転率
利用農場	66	70	2	2.9%
[内訳]				
農場・11戸	29	45	2	4.4%
公共施設・3施設	37	25	0	0%
未利用農場 (BL 対策農場 30戸)	—	655	49	7.5%

アブ防除ジャケットを利用した農場では、未利用農場と比較し、新たに感染する牛の頭数の割合(陽転率)が有意に低下しました。着用による増体量にも影響はありませんでした(着用牛のDG 平均0.91 > 同牛群未着用牛のDG 平均0.78)。

利用者の声

搾乳時に邪魔にならない。牛も嫌がらずに着用し、牛体もきれいに保つことができた。継続利用したい！



アブ防除ジャケットを利用して牛伝染性リンパ腫の対策をおこなってみませんか！

【アブ防除ジャケットの入手方法】

購入する場合は下記に連絡願います。
価格は1着 2,500～4,300円(税込)です。
安価に入手したい方は、自作をおススメします。
作り方は当所ホームページをご覧ください



アブ防除ジャケットに関するお問合せ先

自作：県南家畜保健衛生所 (TEL：0197-23-3531)

購入：県南家畜衛生推進協議会 (TEL：0197-24-5532)

当所HPのQRコード



令和3年度からワクチン接種料金が一部変更になります

県南家畜衛生推進協議会

1 (一社) 岩手県畜産協会【受託事業分】

ワクチン	接種料金
牛五種混合(生)	2,120円
牛五種混合(不活化)	1,950円
牛六種混合(生・不活化)	2,400円
牛六種混合(生)	2,390円
牛アカバネ病	1,940円
牛ヘモフィルス	1,320円
豚丹毒(生)	167円
豚丹毒(不活化)	173円

※赤字が変更後の料金です

2 岩手県南家畜衛生推進協議会【独自事業分】

ワクチン	接種料金
日本脳炎・豚パルボ混合(生)	1,200円
牛下痢五種混合(不活化)	2,300円
ティーエスブイ3	1,700円

上記接種料金は、1頭1回の金額です(消費税を含む)。

お問い合わせは県南家畜衛生推進協議会まで。

定期報告書の提出を忘れずに！

大家畜課 衛生担当

今年も家畜の飼養者・管理者が定期報告を行う時期になりました。
定期報告書の提出は、家畜伝染病予防法に基づく義務となっています。
家畜別に期限や方法が異なりますので、下表をご参考をお願いします。

	牛、馬、めん羊、山羊	豚	鶏
提出期限	<u>4月15日</u>		<u>6月15日</u>
報告方法	2月1日時点の状況を、所定の様式に記入。 様式A「定期報告書」： 氏名、住所、頭数、飼養衛生管理基準チェック表 ・前年と 変更がなくとも必ず提出 。 様式B「定期報告書の添付書類」： 畜舎図面、消毒設備・埋却候補地等 ・過去の報告から 変更がある場合に提出 。		
提出窓口	① 県南家畜保健衛生所 (持参、郵送、FAX) ② 市町、JA、NOSAIの畜産担当窓口へ持参 ③ 県南家畜市場の相談窓口へ持参	県南家畜保健衛生所 (持参、郵送、FAX)	

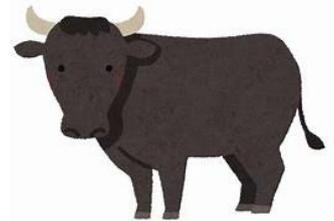
なお、家畜の飼養を止めた方は御一報ください。

飼養衛生管理基準チェック表の
項目数が増えた気がする・・・

家畜伝染病予防法が改正されたためです！

内容がわからない項目があるんだけど・・・

御不明な点がある場合は家畜保健衛生所
までお問い合わせください！



ありがとうございます



担当より一言

定期報告について毎年ご協力いただき、ありがとうございます。
飼養衛生管理基準を遵守して、管内の家畜伝染病の発生を予防しましょう。

〒023-0003 岩手県奥州市水沢佐倉河字東館 41-1

岩手県県南家畜保健衛生所 Tel 0197-23-3531 Fax 0197-23-3593

岩手県県南家畜衛生推進協議会 Tel 0197-24-5532 Fax 0197-23-6988